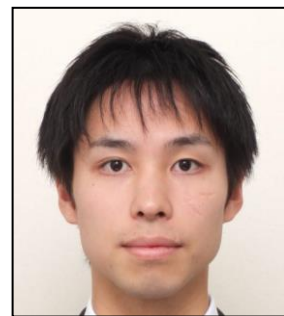


多久和 徳一郎さん（島根県松江市出身）
2017 年度 4 次隊 青年海外協力隊
派遣国：ガーナ 職種：コンピュータ技術
2019 年 5 月 19 日（日）中国新聞 SELECT 掲載



※中国新聞社の許諾を得ています

人事管理システム構築

「オプロニ（外国人さん）！」。道を歩くと子どもたちが笑顔で手を振りながら呼びかけてくる。外国人というだけで道を歩けば有名人扱いだ。

私は今、日本から飛行機で 22 時間かかる西アフリカのガーナという国に住んでいる。ガーナといえばチョコレートやカカオ豆を思い浮かべる人が多いのではないだろうか。この国では金、石油、カカオ豆などを多く輸出している。日本が輸入しているカカオ豆のほとんどはガーナ産である。距離は遠く離れているが、実は私たち日本人の生活と密接に関わっている。

私はガーナの保健省で IT エンジニアとして活動している。最近では保健省で使う人事管理システムを同僚のガーナ人と共に作っている。この国でも少しずつ IT 化が進んでいる。しかし首都アクラから離れるほど電気やインターネットが不安定になるため、場所によってはパソコンより紙とペンの方が役に立つ。

日本へ帰るまでの残り 1 年でこの人事管理システムを完成させる予定だ。システムが完成すれば、ガーナ全国にいる保健省の全ての職員情報を一括で管理することができる。日本人エンジニアとしてこのシステム開発に携わり、IT でガーナの発展に貢献できることを誇りに思う。日本で私を IT エンジニアとして育ててくれた人たちに感謝するとともに、その人たちに恥じぬ働きをしたい。システムが長くガーナの役に立つものになるよう最善を尽くす。



キャプション：
保健省で職員情報を管理するシステムを作る筆者（左）と同僚